

令和2年度 完了課題について

課題名	期間	目的	内容	成果の要約
密播苗を用いた水稲の省力・低コスト栽培技術の確立	H30 ～R2	<p>山梨県内の水稲産地では大規模化、高齢化に対応した省力・低コスト栽培技術の確立が求められている。特に、育苗センターなどでは委託の増加に伴い育苗箱数が増加しており、施設の能力を超えるとともに、育苗から移植の春作業で過密日程となっている。</p> <p>そこで、単位面積あたりの育苗箱数を削減できる高密度播種栽培技術に着目し、本県の水稲品種に適した栽培技術を確認する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要品種の高密度播種育苗技術確立 <ol style="list-style-type: none"> (1) 品種別育苗期の生育特性の把握 (2) 品種や育苗方法毎に適した育苗条件 (3) 温度による育苗期間の把握 2. 高密度播種対応・非対応田植機の移植技術 <ol style="list-style-type: none"> (1) 非対応田植機における適正播種量 (2) 高密度播種育苗における最適な栽植密度 3. 疎植栽培と組み合わせた栽培技術 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高密度播種育苗と疎植栽培による実証 	<p>水稲産地の大規模化・省力化を目標とした育苗箱数の削減化技術について試験を実施し、高密度播種育苗の疎植栽培技術が確立できたため課題を完了とする。</p> <p>次の成果情報として取りまとめた。</p> <p>・「育苗箱数を半減できる水稲高密度播種育苗の疎植栽培」 (R2 成果情報)</p>